



Handwritten text in a cursive script, likely Arabic or Persian, consisting of approximately 10 lines of text.



Small handwritten text or signature located below the red seal.

Small handwritten mark or characters on the right side of the page.

Small handwritten mark or characters on the right side of the page.

相つきの巻

やま

何れもあはれなる
まはるる
月白き
あはれなる
あはれなる

いよいよおもしろくもなれり
もろくもなれり
しるすもなれり
かゝるもなれり
しるすもなれり
かゝるもなれり
しるすもなれり
かゝるもなれり

いよいよおもしろくもなれり
もろくもなれり
しるすもなれり
かゝるもなれり
しるすもなれり
かゝるもなれり
しるすもなれり
かゝるもなれり

おのゝちのこゝろを
くまひておのゝち
あまのこゝろを
くまひておのゝち
おのゝちのこゝろを
くまひておのゝち

夕のほの光
おのゝちのこゝろを
くまひておのゝち
あまのこゝろを
くまひておのゝち
おのゝちのこゝろを
くまひておのゝち

源氏

いんさかすたせせせせせせせせせせ
のせせせせせせせせせせせせせせ
せせせせせせせせせせせせせせ
せせせせせせせせせせせせせせ

源氏

いんさかすたせせせせせせせせせせ

いんさかすたせせせせせせせせせせ

源氏

いんさかすたせせせせせせせせせせ

いんさかすたせせせせせせせせせせ

いんさかすたせせせせせせせせせせ

源氏

源氏

いんさかすたせせせせせせせせせせ

Handwritten text in a cursive script, likely a historical form of Japanese calligraphy. The text is arranged in approximately seven vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and interconnected, characteristic of the 'sōsho' style.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific section header, located in the middle of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It consists of several vertical columns of text, with some characters appearing to be larger or more prominent than others, possibly indicating emphasis or specific characters.

清島下

神

神のまはりにては
しるしをたづねて
あはれみたまはれ
とてまはりにては
あはれみたまはれ

あはれみたまはれ

あはれ

清島

清島のまはりにては
あはれみたまはれ
とてまはりにては
あはれみたまはれ
あはれみたまはれ
あはれみたまはれ
あはれみたまはれ
あはれみたまはれ

原氏

此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、

記

此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、
此の如くは、
乃に、

はる

かく縁のうきまをまもる物
あはれけりまよひ
まよひしあはれ
まよひまよひ
まよひまよひ
まよひまよひ
まよひまよひ

まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ
まよひまよひまよひ

まゝにふりかへりて
いふにふりかへりて
侍のふりかへりて
おまへにふりかへりて
いふにふりかへりて
侍のふりかへりて
おまへにふりかへりて

たのむにふりかへりて
おまへにふりかへりて
いふにふりかへりて
侍のふりかへりて
おまへにふりかへりて
いふにふりかへりて
侍のふりかへりて
おまへにふりかへりて

御
座

かきつゝたゞしき
まはるゝをゆるん

道(康)たまひ泪は

下(志)くくや流

か(る)ゆゑにちか

ま(し)るゝの

初(初)の

え

け(あ)つゝ初(は)

あ(あ)つゝ

あ(あ)つゝ

あ(あ)つゝ

あ(あ)つゝ

あはれなるにこそ
よのちのちのちのち
あはれなるにこそ

あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ

あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ
あはれなるにこそ

Handwritten text in cursive script on the left page, consisting of approximately six lines of text.

Handwritten text in cursive script on the right page, consisting of approximately six lines of text.

かきつゝまゝのまゝ
回らぬまゝのまゝ
まゝのまゝのまゝ
くまゝのまゝのまゝ
人のまゝのまゝのまゝ
まゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝ
たゝのまゝのまゝのまゝ
まゝのまゝのまゝのまゝ
まゝのまゝのまゝのまゝ
まゝのまゝのまゝのまゝ
まゝのまゝのまゝのまゝ

何れもたゞし、
何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、
何れもたゞし、
何れもたゞし、
何れもたゞし、

何れも

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れもたゞし、

何れも

かき

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

家

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

あはれなるに

Handwritten text in a cursive script, likely a historical form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is written on a dark background and consists of several lines of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is written on a dark background and consists of several lines of characters.

あゝあゝあゝ

あゝ

あゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝあゝあゝ

あゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or religious document, written on the right page of an open manuscript. The text is arranged in approximately six lines, starting from the top right and moving downwards. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or religious document, written on the left page of an open manuscript. The text is arranged in approximately six lines, starting from the top left and moving downwards. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language.

らた 母の 邦

廿二日の夜

夕一

いさよふとちよと

ふらふらふらふらふら

たふらふらふらふら

ふらふらふらふら

たふらふらふらふら

ふらふらふらふら

ふらふらふらふら

ふらふらふらふら

ふらふら

ふらふらふらふらふら

あまのこころを
かきとめて
こころを
かきとめて

ほろ

たのしみは
あまのこころを
かきとめて
あまのこころを
かきとめて

あまのこころを
かきとめて
あまのこころを
かきとめて

あまのこころ

あまのこころを
かきとめて
あまのこころを
かきとめて

あまのこころ

あまのこころ

あまのこころを
かきとめて
あまのこころを
かきとめて

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, written on a dark background. The text is arranged in several lines, flowing from right to left. The script is highly stylized and fluid.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy, written on a dark background. The text is arranged in several lines, flowing from right to left. The script is highly stylized and fluid.

うゝいゝちかきゝらゝゝゝ
くねゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
おゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

海

あやゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

藤七のちか

夕霧のちか

ねゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いふはあはれなるものなり
此の年々もあはれなる人
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり

いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり
いふはあはれなるものなり

ふりかへてはなれぬ
こころのこころを
かきまわすはなれぬ
こころのこころを
かきまわすはなれぬ
こころのこころを
かきまわすはなれぬ

こころのこころを
かきまわすはなれぬ
こころのこころを
かきまわすはなれぬ
こころのこころを
かきまわすはなれぬ
こころのこころを
かきまわすはなれぬ

おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく

おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく
おはなれにさしつかへなく

おはなれにさしつかへなく

24 3.12



